

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-313141

(43)Date of publication of application : 09.11.1999

(51)Int.Cl.

H04M 1/274

H04Q 7/38

H04M 1/00

H04M 1/21

(21)Application number : 11-054176

(71)Applicant : KYU KOTETSU

(22)Date of filing : 02.03.1999

(72)Inventor : KYU KOTETSU

(30)Priority

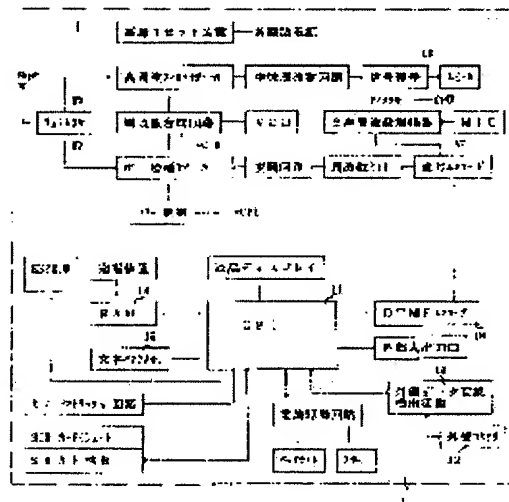
Priority number : 98 98101212 Priority date : 30.03.1998 Priority country : CN

(54) EXTERNAL EDITING DEVICE FOR TELEPHONE DIRECTORY AND SCHEDULE TABLE OF PORTABLE TELEPHONE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an external editing device for a telephone directory and schedule table of portable telephone.

SOLUTION: This external editing device for directly receiving, preserving and checking individual exclusive data such as the telephone directory or the schedule table edited in an external hardware while being carried by connecting a communication port originally provided in the portable telephone or an added dedicated communication port to an external data conversion detection circuit to be connected to the communication port of a general computer or a PDA. The non-distribution property of individual data between the conventional portable telephone and the computer and the disadvantage incapable of editing pictographs in the portable telephone are improved and an effect capable of unifying the editing of the data banks of both is obtained.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 02.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 27.06.2000

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2000-015213

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 25.09.2000

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-313141

(43) 公開日 平成11年(1999)11月9日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 1/274

H 0 4 M 1/274

H 0 4 Q 7/38

1/00

Z

H 0 4 M 1/00

1/21

A

1/21

B

H 0 4 B 7/26

1 0 9 T

審査請求 有 請求項の数 8 O L (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平11-54176

(22) 出願日

平成11年(1999) 3月2日

(31) 優先権主張番号

9 8 1 0 1 2 1 2 . 4

(32) 優先日

1998年 3月30日

(33) 優先権主張国

中国 (C N)

(71) 出願人 599028537

邱 宏哲

台湾台北市新生北路二段28巷3號4樓之2

(72) 発明者 邱 宏哲

台湾台北市新生北路二段28巷3號4樓之2

(74) 代理人

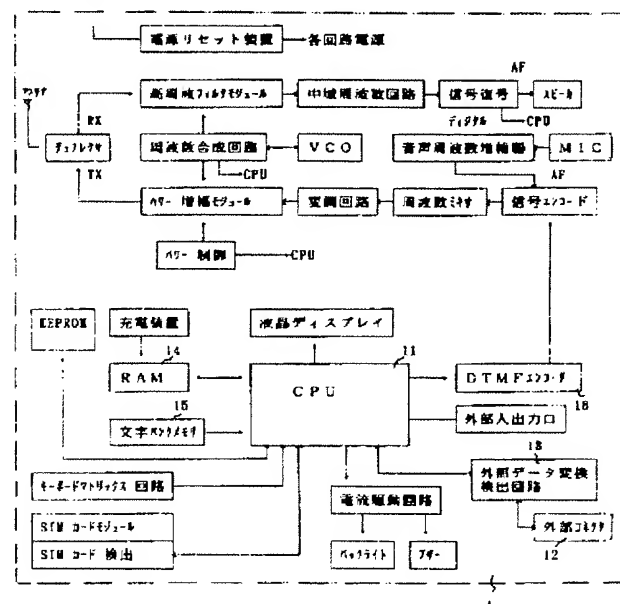
弁理士 竹本 松司 (外 5 名)

(54) 【発明の名称】 携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置の提供。

【解決手段】 本発明の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置は、携帯電話にもともとある通信ポート或いは増設した専用通信ポートを、外部データ変換検出回路に接続して一般のコンピュータ或いはPDAの通信ポートに接続するのに供し、直接外部ハードウェアで編集した電話簿或いはスケジュール表等個人専属データを受信し、並びに保存し、携帯してのチェックに供することができるようにしてあり、従来の携帯電話とコンピュータ間の個人データの不流通性と、携帯電話で象形文字を編集できなかった欠点を改善し、両者のデータバンクの編集の統一化を達成できる効果を提供するようにしてある。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 外部のハードウェアより送られた編集個人データを受信するコネクタと、この連結回路に接続し外部ハードウェアの編集した個人専属データを受け取る外部データ変換検出回路と、該外部データ変換検出回路に接続し、データの保存、表示及び対比の処理を行う CPU と、該 CPU に接続し編集データを保存するメモリ、以上を包括して構成された、携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 2】 前記コネクタが携帯電話にもともと備わっている通信ポートとされるか、或いは専用の通信ポートとされることを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 3】 前記外部データ変換検出回路が、外部信号を検出してレベル変換を行うと共にその具備する保護回路により外部の不正常な電圧が内部回路を損壊するのを防止することを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 4】 前記 CPU が携帯電話と個人データバンクの機能を有していることを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 5】 前記メモリが、携帯電話の使用される国の常用の言語の文字バンクメモリを備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 6】 前記コネクタの接続方式がシリアルポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 7】 前記コネクタの接続方式がパラレルポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

【請求項 8】 前記コネクタの接続方式が赤外線ポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置に関し、特に、パーソナルコンピュータ或いは PDA より象形文字を携帯電話に入力、保存できるようにする外部編集装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般に携帯電話は、その内部にメモリが設けられて、常用の電話番号や日付、時間を記憶できる。しかし携帯電話に設けられた押しキーは有限であり、このため簡単な代表性データを入力することしかできず、複雑な文字型の入力に対しては応用できず、このため携帯電話にあるデータバンクの機能と効果が低減し、理想的でなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ゆえに、本発明は、一種の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置を提供することを課題とし、具体的には、携帯電話にもともとある通信ポート或いは増設した専用通信ポートを、外部データ変換検出回路に接続して一般のコンピュータ或いは PDA の通信ポートに接続するのに供し、直接外部ハードウェアで編集した電話簿或いはスケジュール表等個人専属データを受信し、並びに保存し、携帯してのチェックに供することができるようにしてあり、従来の携帯電話とコンピュータ間の個人データの不流通性と、携帯電話で象形文字を編集できなかった欠点を改善し、両者のデータバンクの編集の統一化を達成できる効果を提供することを課題としている。

【0004】本発明はまた、コンピュータ内に保存されたスケジュール表を携帯電話に転送保存できるようにし、さらに携帯電話がその内部の計時器（日、時、分）により定時に呼出しを行うと共に記事内容を表示できるようにすることを課題としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】請求項 1 の発明は、外部のハードウェアより送られた編集個人データを受信するコネクタと、この連結回路に接続し外部ハードウェアの編集した個人専属データを受け取る外部データ変換検出回路と、該外部データ変換検出回路に接続し、データの保存、表示及び対比の処理を行う CPU と、該 CPU に接続し編集データを保存するメモリ、以上を包括して構成された、携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 2 の発明は、前記コネクタが携帯電話にもともと備わっている通信ポートとされるか、或いは専用の通信ポートとされることを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 3 の発明は、前記外部データ変換検出回路が、外部信号を検出してレベル変換を行うと共にその具備する保護回路により外部の不正常な電圧が内部回路を損壊するのを防止することを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 4 の発明は、前記 CPU が携帯電話と個人データバンクの機能を有していることを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 5 の発明は、前記メモリが、携帯電話の使用される国の常用の言語の文字バンクメモリを備えたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 6 の発明は、前記コネクタの接続方式がシリアルポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。請求項 7 の発明は、前記コネクタの接続方式がパラレルポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話

の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。  
請求項 8 の発明は、前記コネクタの接続方式が赤外線ポートとされたことを特徴とする、請求項 1 に記載の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置としている。

#### 【0006】

【発明の実施の形態】本発明の携帯電話の電話簿及びスケジュール表外部編集装置は、携帯電話にもともとある通信ポート或いは増設した専用通信ポートを、外部データ変換検出回路に接続して一般のコンピュータ或いは P D A の通信ポートに接続するのに供し、直接外部ハードウェアで編集した電話簿或いはスケジュール表等個人専属データを受信し、並びに保存し、携帯してのチェックに供することができるようにしてあり、従来の携帯電話とコンピュータ間の個人データの下流通性と、携帯電話で象形文字を編集できなかった欠点を改善し、両者のデータバンクの編集の統一化を達成できる効果を提供する。

#### 【0007】

【実施例】図 1 に示されるように、本発明は、携帯電話 (1) の内部にもともとある C P U (11) が有する一般の携帯電話の機能の外に、さらに以下のような相関するデータバンク機能を有している。即ち、

1. フロー制御： 操作制御のフローに供される。
2. 内部データの読み書き： すでに入力された個人データバンクのデータを読み出すほか、新たに書き込む。
3. データ表示： 個人データバンクのデータを編集画面によりディスプレイに表示する。
4. データ対比： 受信したデータをメモリ中のデータより検索し、対比する。

【0008】C P U (11) は外部データ変換検出回路 (13) を介して外部コネクタ (12) と接続され、外部コネクタ (12) が外部エディターとの連結に供され、これにより個人データバンクの入出力の接続関係を構成し、その接続方式は、シリアルポート、例えば R S - 2 3 2、R S - 4 2 9、R S - 4 2 2、R S - 4 2 3 或いはパラレルポート、例えばプリントポート、或いは赤外線ポートを包括する。この外部データ変換検出回路 (13) は外部コネクタ (12) が受信した外部信号を、レベル変換し、且つ保護回路により外部の不正常電圧が内部の回路を破壊するのを防止する。

【0009】該 C P U (11) はまた、R A M (14) と文字バンクメモリ (15) とにそれぞれ接続し、該 R A M (14) は一般的なランダムデータを保存でき、且つ大量の個人データバンクのデータを保存できるものとされ、該文字バンクメモリ (15) は本発明の使用される国で常用される文字 (中国語、日本語、韓国語などの象形文字) を格納した R O M とされる。

【0010】また、C P U (11) は別に、外部入出力口 (16) に接続され、個人データはこの外部入出力口 (16) に

いて拡張されたピンで外部データ変換検出回路 (13) の入出力に連結可能で、外部コネクタ (12) が増設されない時に、この外部入出力口 (16) を延用し入出力を行うことができるようにしてある。さらに、電池交換時の R A M (14) のデータ流出を防止するために上記 R A M (14) に充電装置 (17) が接続されている。

【0011】図 2 に示されるように、本発明において、データが携帯電話に入力される時、外部エディターより一つの開始信号が送りこまれ、それにより C P U (11) に信号列の開始が通知され、C P U (11) が信号の種類、メモリアドレス、データ長及び内容、検査コード、終了信号を取得し、その後、検査コードが正確であるか否かの判断を行い、正確であれば、データのメモリへの格納がなされ、編集動作が完成する。

【0012】携帯電話が外部からの電話を受けた時には、図 3 に示されるように、まず電話番号がデータバンクに格納されているか否かの検索がなされ、もしすでに格納されていれば、データバンク内の姓名データが読み取られ、並びに姓名と電話番号がディスプレイに表示され、もし電話番号がデータバンクになければ、一般の通話モードに変換されて、電話番号がディスプレイに表示されるようにしてあり、実用性が高められている。

【0013】図 4 に示されるように、本発明においてスケジュール表を処理する時、まず現在の日付と時間を読み取り、並びにスケジュールの指定時間と符合するか否かを検査し、もし符合すれば、スケジュール表の相関データを読み取り、並びに確認要求の表示をディスプレイに表示し、且つ警告音を発生して使用者の確認に待機する。使用者が確認した後、データがディスプレイに表示される。

【0014】図 5 は本発明のデータ編集実施例を示す。本発明においてデータ編集を行う時には、携帯電話内のメモリの容量が有限であるため、ソフトウェアがデータ転送する時に、選択的な定量伝送を行えるものとしている。例えば電話簿のソフトウェア内を図 5 の a に示されるように 7 種類或いはそれ以上の類別に分けて、各種別ごとにそれぞれ転送保存可能な固定データ量が 50 画であるものとし、並びに任意に移動と配列できる機能を有するものとし、各データ量が 50 画を越えたとき、選択的にデータを配列し、保存できないものについては付属のデータ伝送を行わないデータバンクに記憶する。もとの編集データ内容には、コード番号、姓名、電話番号、会社名、住所等が含まれるが、コード番号と、姓名及び電話番号コードのみを伝送する (図 5 の b) 参照。

【0015】図 6 を参照されたい。図 6 は本発明が中国語圏で使用された場合の実施例の外観を示す。本発明においてデータ検索する時、まず類別により区段コードを入力し、さらに携帯電話 (1) の \* 或いは # キーを用いて前後に検索するか、或いは全ての類別をディスプレイ (100) に表示して項目を選択し、さらに入力すればよく、

その検索方式は簡単で迅速であり、携帯電話内に置かれた電話簿の使用率を高めることができる。

# 【0016】

【発明の効果】総合すると、本発明は外部編集方式により、従来の携帯電話とコンピュータ間に存在したデータの不流通性の問題を解決しており、携帯電話で象形文字の編集ができるようにして携帯して検索できるようにしてあり、携帯電話の使用価値を高める効果を提供している。ゆえに、本発明は新規性及び産業上の利用価値を有する発明である。

# 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電気回路ブロック図である。

【図2】本発明の、外部編集データの携帯電話への入力フローチャートである。

【図3】本発明の、外部からの電話があった時の相手の

電話番号識別処理フローチャートである。

【図4】本発明の、スケジュール表処理フローチャートである。

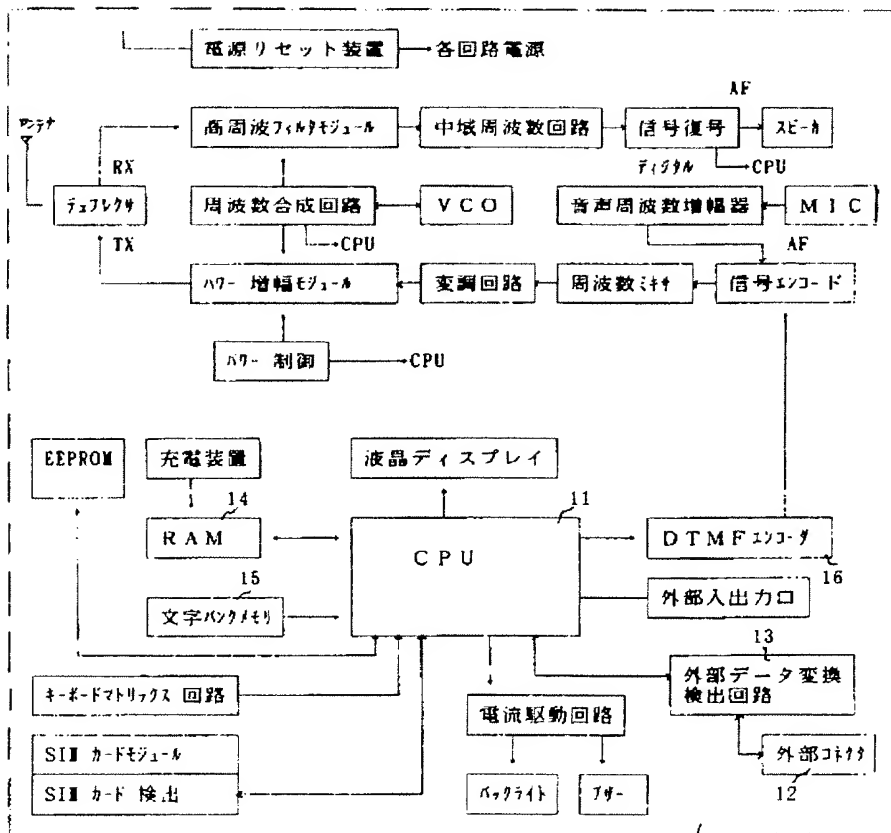
【図5】本発明の、データ編集実施例表示図である。

【図6】本発明を運用した携帯電話が中国語圏で使用された場合の実施例の外観図である。

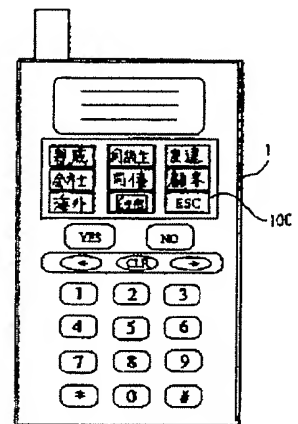
# 【符号の説明】

- (1) 携帯電話
- (11) CPU
- (12) 外部連接口
- (13) 外部データ変換検出回路
- (100) ディスプレイ
- (14) RAM
- (15) 文字バンクメモリ
- (16) 外部入出力口

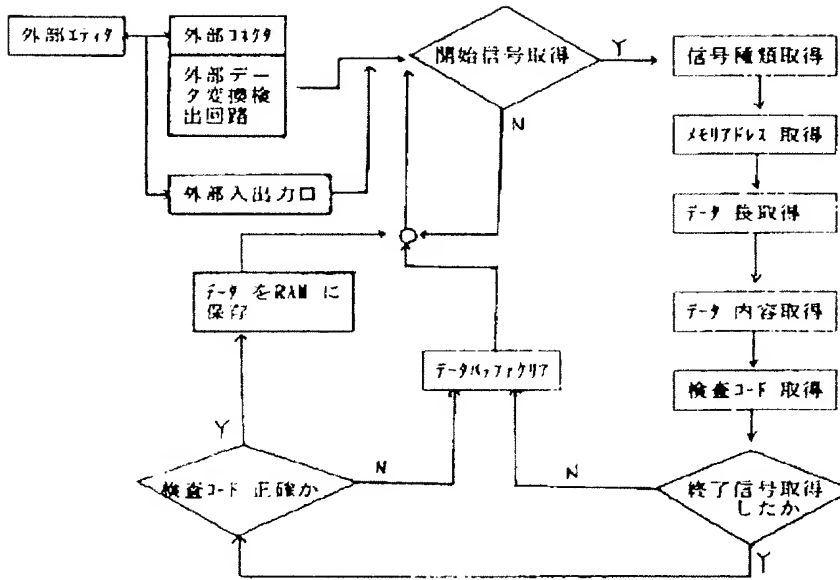
【図1】



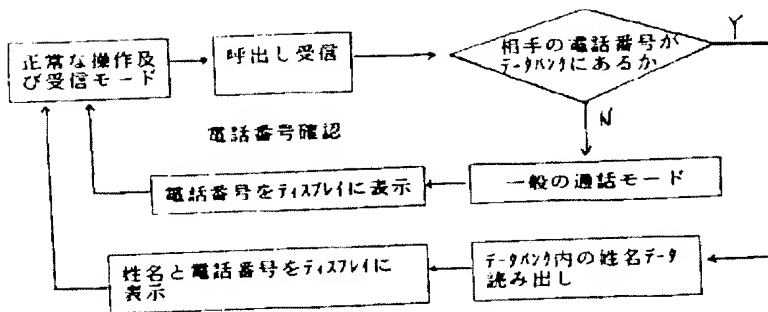
【図6】



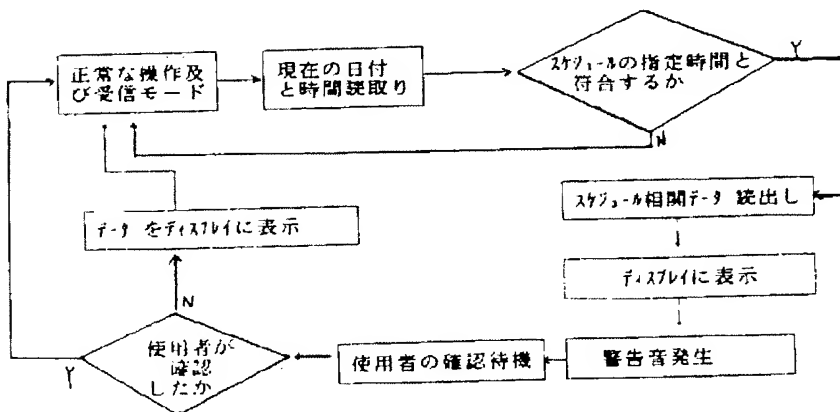
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

コード番号	類別
001-050	機械
051-100	同級生
101-150	友人
151-200	会社
201-250	同僚
251-300	顧客
301-350	その他

伝送			不伝送		
類別	コード番号	姓名	TEL.	FAX.	住所
機械	001				
	002				
	003				
	050				
同級生	051				
	052				
	053				
	100				
友達	101				
	102				
	103				
	150				

(6)

特開平 1 1 - 3 1 3 1 4 1

フロントページの続き

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 B 7/26

1 0 9 M